

第2編 施策編

第1章 施策編の位置づけ

第2次産業振興ビジョン第2編 施策編では、第1編 ビジョン編で示す産業振興の方向性に基づき、基本施策、成果指標等を定めるとともに、特に重要となる施策群をリーディングプロジェクトとして位置づけます。

第2章 施策

1 リーディングプロジェクト

第2次産業振興ビジョンの最終計画年度である令和14年度(2032年度)によりよい札幌経済の姿を築くためには、札幌が持つ強みや魅力を生かしながら、「重点分野」と「横断的戦略」の中で特に重点的に取り組む施策を関連性のある施策との相乗効果を生みつつ、効果的に展開していく必要があります。

人口減少に伴う市場の縮小や人手不足等の地域課題を抱える札幌市においては、北海道新幹線の札幌延伸や都心の再開発などの機会を最大限に生かして、各施策を推進していくことが非常に重要です。

また、都市としての魅力を発信することにより交流人口を増加させ、ヒト・モノ・資金・情報といった資源の活発な流通を起こし、それらを活用したイノベーションを創出することで、また新たな魅力を生むという好循環を起こすことが、持続的な経済成長の鍵となります。

このことから、第2次産業振興ビジョン第2編においては、札幌市の大きな魅力であり、特に国内外への発信力を持つ「観光」と「食」に関する施策群を交流人口増加の呼び水とし、「スタートアップ」の施策群を革新的な技術や発想を基にイノベーションを創出するエンジンとすることを目指し、3つの施策群をリーディングプロジェクトとして位置づけ、各施策の相乗効果を生みながら産業振興を図っていきます。

【リーディングプロジェクトと施策展開の方向性の相関図】

